

マイコプラズマ感染症って何？

～長引く咳は要注意！～

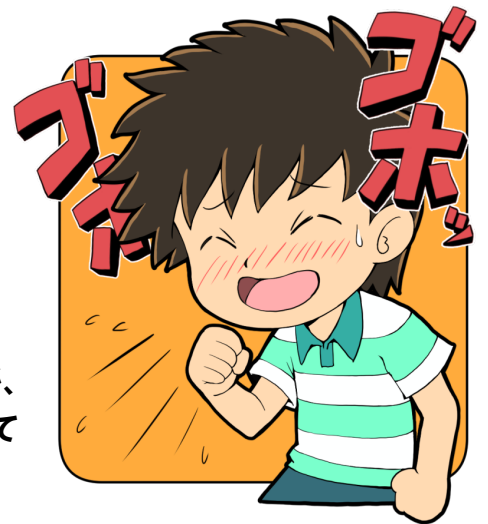
★マイコプラズマという病原体が原因の感染症です。

主に肺炎や気管支炎を起こします。肺炎は、もともと病気を持っている人や抵抗力の弱い乳児・老人などがかかりやすいのですが、マイコプラズマ肺炎は普段元気になっている学童・中高生・成人にも多く見られます。

一度感染しても再び感染することがあります。

★家庭・幼稚園・保育園・学校などで感染が広がります。

咳やくしゃみなどに含まれるしぶき(飛沫)でうつり、2週間ほどで症状が出ます。中には軽い症状で自然に治ってしまう場合もあります。



★発熱としつこい咳が続きます。

初めは発熱だけで次第に咳がひどくなって来るとありますが、熱がなくしつこく長い咳だけのこともあります。他の肺炎と比べて元気なことも多いです。

★レントゲン検査・血液検査・のどの検査などで診断します。

すぐに結果が出ないものもあるのでマイコプラズマを疑って治療を開始することもあります。

★内服の抗生剤で治療します。(外来での治療が一般的です)

マイコプラズマに効く抗生剤は苦味がありますが、頑張って内服しましょう。最近この抗生剤の効かないマイコプラズマも出てきています。2～3日内服しても解熱しない場合は他の抗生剤に変更します。

発熱やはげしい咳がおさまらず、元気になるまでは登園・登校できません。

★重い症状があれば入院することもあります。

咳や熱の影響で食事がとれない・眠れないなどの重い症状がある場合は入院での治療になります。また内服の抗生剤を変更しても解熱しない時はかかりつけ医に相談しましょう。